

V ひきこもり対策の現状

ひきこもりとは、「様々な要因の結果として社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など）を回避し、原則的には6ヵ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形での外出をしてもよい）」を指す*。内閣府の調査によると現在ひきこもり状態にある方は全国で約146万人と推計されている（令和4年度内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査」）。県内でも、平成30年度ひきこもりに関する実態調査を実施し、ひきこもりの状態にある方は少なくとも726人いることが分かった。

本県では、ひきこもり対策として精神保健福祉センターや保健所において、家族等から相談を受け、必要に応じて家庭訪問を実施するほか、家族教室、居場所の提供、講演会等を実施している。

また、平成23年6月20日に県精神保健福祉センター内に設置した「香川県ひきこもり地域支援センター」においては、県内保健所や関係機関と連携して、ひきこもり状態にある方や家族からの相談に応じるとともに、ひきこもり相談支援に携わる支援者等を対象とした研修会等を行っている。

*ひきこもりの評価・支援に関するガイドラインより

表 35 令和5年度ひきこもり相談等実績

	小豆	東讃	中讃	西讃	センター	高松	ひきこもり相談窓 口（委託）	ひきこもり当事者傾 聴サロン（委託）	計
訪問（延件数）	47	38	40	19	28	121			293
相談（延件数）	42	46	82	16	647	181	16		1,030
相談内訳	電話（延）	40	40	55	9	137	89	14	384
	来所（延）	2	6	13	7	485	92	2	607
	メール（延）	0	0	14	0	25	0		39
講演会・研修会（回数）	2	2	3	1	2	0			10
家族教室・交流会（回数）	0	0	2	0	10	3			15
当事者の集団活動（回数）	0	0	0	0	24	0		24	48

*高松市保健センターは、平成28年度から「高松市ひきこもり相談窓口」、平成29年度から「高松市ひきこもり当事者傾聴サロン」を『KHJ 香川県オリーブの会』に委託している。

表 36 令和5年度ひきこもり関係協議会、講演会・研修会等実施状況

	事業名	内 容	実績等	
			回数	延人数
ひきこもり地域支援センター (精神保健福祉センター)	ひきこもり対策連絡協議会	第1回 (R5.6.27) ※オンライン開催 (Webex) (1) 香川県におけるひきこもり支援体制について (2) 市町実態調査の報告 (宇多津町、綾川町) (3) 県内小・中学校における不登校の実態と課題、取り組み状況について 第2回 (R5.12.5) ※オンライン開催 (Webex) (1) ひきこもり支援者のための実践研修 (2) 情報交換 ※第2回は、ひきこもり支援者のための実践研修と同時開催	2回	120人
	ひきこもり支援者のための実践研修	講演:「社会に繋がる勇気を如何に育むか～アドラー心理学と武術の学びからの提案～」 講師: 社会福祉法人矯風会 徳島児童ホーム 園長 梅崎一郎 氏 ※オンライン (Webex) により、第2回香川県ひきこもり対策連絡協議会と同時開催	1回	62人
	ひきこもり対策研修会・思春期精神保健研修会	講演『「ひきこもり」相談者の声～支援活動に1日密着～』 講師: 一般社団法人 hito.toco 代表理事 宮武将大氏 ※ You Tube によるオンデマンド配信	1回	695回 アクセス数
事務所 小豆総合	ひきこもり対策支援者研修会	第1回 (R5.11.29) 講義:「“ひきこもり”を支援者の心理から考える」 講師: 小豆島病院 臨床心理士・公認心理師 植田中子氏 第2回 (R5.12.11) 講義:「家族相談から考えるひきこもり支援」 講師: 一般社団法人 hito.toco 代表理事 宮武将大氏	2回	53人
福祉事務所 東讃保健	ひきこもり支援研修会	第1回 (R5.7.7) 講義: 長期ひきこもりの理解と支援方法について 講師: 日本福祉大学名誉教授 竹中 哲夫 氏 第2回 (R5.9.29) 事例検討 (グループワーク) 助言者: hito.toco 代表理事 宮武 将大氏 県精神保健福祉センター ひきこもり市町等支援員 藤尾 大智 氏	2回	65人
	民生委員への普及啓発	管内4市町全地区の民生委員に対し、ひきこもり相談窓口の周知、ひきこもりサポートマップの配布、アンケート等を行った。	10回	226人
福祉事務所 中讃保健	ひきこもり支援研修会	講演「CRAFTを活用したひきこもりの家族支援」 講師 宮崎大学教育学部 教授 境 泉洋氏 家族同士での座談会	1回	20人
	ひきこもり支援者研修会・事例検討会	第1回 多度津町健康福祉課よりひきこもり支援体制の紹介、事例提供 「ひきこもり歴40年の50代男性への支援」 助言者 一般社団法人 hito.toco 宮武 将大氏 (ひきこもり専門相談員) グループで事例検討、全体で意見交換 第2回 丸亀市社会福祉協議会より事例提供 「ひきこもり、家族関係希薄、生活困窮という多問題を抱える家庭」 助言者 一般社団法人 hito.toco 宮武 将大氏 (ひきこもり専門相談員) グループで事例検討	2回	52人

福祉事務所 西讃保健	ひきこもり支援 研修会	講義：「ひきこもりを考えるー理解と対応についてー」 講師：さんあいクリニック 心療内科・精神科医師 三谷 理恵 先生	1回	44人
づくり推進課 高松市健康	高松市ひきこも りサポーター活 動従事者研修会	R5.10.14 ○講義：「ひきこもり支援におけるアウトリーチ～見守 ること、見立てること、抱えること、寄り添う こと～」 講師：鳥取県精神保健福祉センター 所長 原田 豊 氏	1回	53人

表 37 令和5年度ひきこもり当事者の集団活動や交流会等の状況

	事業名	内 容	実績等	
			回数	延人数 (実人数)
ひきこもり地域支援センター (精神保健福祉センター)	ひきこもり当事 者の集団活動 (ポコアポコ)	ひきこもり当事者の社会参加へのステップを目的とし た当事者の集団活動 毎月2回 (第1・3水曜日)	24回	183人 (15人)
	ひきこもり親の グループワーク	グループミーティング 毎月1回 (第2金曜日)	10回	41人 (15人)
福祉事務所 中讃保健	ひきこもり家族 のつどい (アネモネの会)	ひきこもりサポーターからの経験談発表、家族同士で の座談会、相談窓口や居場所、研修会等の情報提供	2回	25人 (18人)

1. ひきこもりサポーター養成研修・フォローアップ研修、派遣・活用状況

平成26年度に、地域に潜在するひきこもりを早期に発見し、適切な支援機関に早期に繋ぐことで、ひきこもりからの脱却の短期化を目指すために、当事者、家族、民生委員、学生等、幅広い層から「ひきこもりサポーター」を養成するための研修を実施した。平成27年度からは、ひきこもりサポーターとして活動希望者を登録し、ひきこもりサポーター派遣事業を実施する市町に名簿提供を行うとともに、登録したサポーターに対し、フォローアップ研修を実施している。

【サポーター研修・勉強会等】

令和5年度は、ひきこもり支援やサポーターの活動の幅を広げるために、サポーター養成研修等を一般社団法人 hito.toco に委託し、行政、関係機関（家族会等）と連携しながら実施した。

	内 容	回数	延人数
ひきこもりサ ポーター養成研 修	R5.9.30 講師：PSI カウンセリングルーム代表 竹内祐一 氏 講師：大手前大学 現代社会学部 現代社会学科 准教授 伊藤康貴 氏 R5.10.1 講師：PSI カウンセリングルーム代表 竹内祐一 氏 講師：ひきこもり支援センター「ワンタッチ」山口光司 氏 講師：一般社団法人ひきこもり UX 会議 共同代表理事 恩田夏絵 氏	1回	31人

ひきこもりサポーターフォローアップ研修	R5.10.14 講義：「ひきこもりの基礎理解と支援」 講師：鳥取県立精神保健福祉センター 所長 原田 豊 氏	1 回	53 人
---------------------	--	-----	------

【ひきこもりサポーター登録者数】 サポーターの登録・名簿管理はひきこもり地域支援センターが実施。

H26 年度	32 名
H27 年度	32 名
H28 年度	25 名
H29 年度	31 名
H30 年度	27 名（活動 23・協力 4）
H31 年度 (R1 年度)	24 名（活動 22・協力 2） 4/1 時点 養成研修後 新規登録者 44 名（活動 28・協力 16） 合計 68 名（活動 50・協力 18） 11/1 時点
R2 年度	64 名（活動 51・協力 13） 4/1 時点
R3 年度	49 名（活動 38・協力 11） 4/1 時点
R4 年度	66 名 4/1 時点
R5 年度	65 名 4/1 時点
R6 年度	82 名 4/1 時点

【ひきこもりサポーター派遣・活用状況、実績】

サポーター派遣については、市町が主体にする事業であるが、当初は実施する自治体が 2 市町にとどまったため、平成 27 年 7 月から「ひきこもりサポーター活用事業要綱」を定め、県保健所やひきこもり地域支援センターでサポーターの活用を実施している。

	派遣回数	活動延人数（実人数）
H27 年度	15 回	18 名（8）
H28 年度	105 回	251 名（25）
H29 年度	133 回	299 名（20）
H30 年度	134 回	269 名（20）
R1 年度	115 回	242 名（19）
R2 年度	158 回	312 名（29）
R3 年度	136 回	289 名（26）
R4 年度	151 回	317 名（23）
R5 年度	161 回	283 名（38）

令和 5 年度実施機関：

高松市、まんのう町、三豊市、東讃保健福祉事務所、中讃保健福祉事務所、ひきこもり地域支援センター、一般社団法人 hito.toco、支援センターウイズ

令和 5 年度活用内容：

- 当事者への直接支援
 - ・訪問支援…まんのう町、高松市、中讃保健福祉事務所
 - ・来所相談、電話相談、傾聴サロン…高松市

- ・同席面接…一般社団法人 hito.toco
- ・居場所運営補助…一般社団法人 hito.toco、支援センターウイズ
- 家族への支援
 - ・訪問支援…高松市、中讃保健福祉事務所
- 事業の協力
 - ・当事者の集団活動…ひきこもり地域支援センター
 - ・家族教室…一般社団法人 hito.toco 三豊市、東讃保健福祉事務所、中讃保健福祉事務所、ひきこもり地域支援センター

【ひきこもりサポーターを活用した多様な居場所事業】

ひきこもりサポーターが個別支援力やひきこもり支援への対応力を高め、サポーター同士の情報交換やモチベーションの維持・向上、関係機関との連携ができる研修会を開催している。

	内 容	実績
「当事者が語る『ひきこもり』」及び「小さな交流会」	(講演会) R6.2.22 講 義：「当事者が語る『ひきこもり』」 登壇者：ささらぎ氏 コーディネーター：一般社団法人hito.toco 代表理事 宮武将大氏	88名
	(小さな交流会) R6.2.22 当事者との座談会	41名

2. 令和5年度の取組み

【ひきこもり専門相談員派遣事業】

県がひきこもり専門相談員（ひきこもり支援の豊富な相談実績及び知識を有する者）を3名委嘱し、市町、保健所、社会福祉協議会その他ひきこもり相談を受ける者へのスーパーバイズを行い、地域相談者のスキル向上と相談機能の充実を図る。

	派遣回数
R5年度	9回

【保護者対象のペアレントプログラム】

NPO 法人ペアレントメンターかがわに委託し、保護者から本人への効果的なアプローチによるひきこもりからの脱却及び家族支援の充実を図る。

	開催時期	対象者	参加延人数
R5年度	夏学期	18歳以上	52名
	秋学期	18歳未満	68名

【ひきこもり当事者・家族向けの交流・社会参加・体験のできる居場所】

さぬきポレポレ農園（東讃地域）、香川県ふじみ園（中讃地域）、支援センターウイズ（西讃地域）の3か所に委託し居場所づくりを実施している。

【ひきこもりサポーターを活用したオンライン居場所事業】

一般社団法人 hito.toco に委託し、対面コミュニケーションや外出が苦手等の理由から支援に繋がりにくいひきこもり当事者や家族の居場所づくりを実施している。

【ひきこもり市町等支援員の配置】

より住民に身近な市町でのひきこもり支援の充実・強化を図ること目的に、ひきこもり支援関係機関や市町の職員に対し、支援に必要な知識及び技術を指導するとともに、地域における関係機関のネットワーク構築の促進等を行うひきこもり市町等支援員を香川県ひきこもり地域支援センターに配置している。